

# 平成27年度 租税教育実践例 (第6学年社会科)

登米市立東郷小学校  
教諭 金野 ゆかり

## 1 小单元名 税金の働き

## 2 小单元の目標

人々の願いを実現するための費用には、住民や会社などから集められた税金が使われていることを知り、税金は、わたしたちの生活や社会を支える大切なものであることを理解する。

## 3 児童の実態 (23名)

本单元を学習するにあたり、事前調査を実施したところ、以下のような結果となった。

質問事項	回答	人数
どんな税金を知っていますか。	・消費税 ・自動車税 ・たばこ税	23名 2名 1名
税金はどんなことに使われているのでしょうか。	・市で使われる。 ・困っている人、体の不自由な人のために使われる。 ・道路工事 ・市や国の建物を建てる。 ・教科書 ・給食 ・募金のように困っている国に送る。	
税金は誰が決めますか。	・総理大臣 ・知事、市長 ・国会議員	2名 5名 16名

以上のことから、消費税は自分たちの経験を通して知っているものの、それ以外の税金については知らない児童が多い。また、用途についても、募金などと混同しており、税金についての知識は乏しいと思われる。

## 4 本時の学習

### (1) 本時のねらい

- ・税金は、わたしたちの生活や社会を支える大切なものであることを理解する。

(2) 学習過程

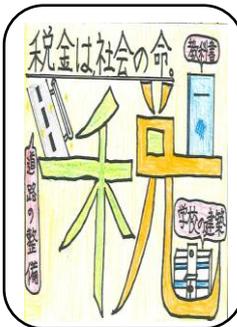
過程	学 習 活 動	学習の様子や児童の反応	準備物
つ か む	<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <b>私たちの生活と税金のかかわりについて考えよう</b> </div> <p>2 ゲストティーチャーを迎える。 ・ゲストティーチャーとして、登米法人会の高田さんから「税金」について話を聞く。</p>	<p>・登米法人会について知る。 ・税金は自分たちの生活とどのように関係しているのだろう。</p>	
考 え る	<p>3 税金にはどんなものがあるか考える。 (1) 知っている税金の名前を挙げる。 (2) 1億円のレプリカを実際に持ってみて実質的な1億円の重さを体感する。</p> <p>4 税金は何に使われているか、考える。 (1) 使われているもの ・公園 ・学校 ・市役所 ・橋 ・祝祭劇場・市民プール ・市民病院 ・信号機 (2) 使われていないもの ・工場 ・スポーツクラブ ・ショッピングセンター ・電器店 ・ビデオレンタル ・ファミレス ・ホームセンター ・ファストフード</p>	<p>・消費税 ・自動車税 ・たばこ税 ※消費税率8%で、54兆円にも上ると説明されるが実感できない様子だった。</p>  <p>※グループで話し合い、税金が使われているものと使われていないものにとカードを分ける。 ※工場は税金が使われているのではないかと迷ったグループがあった。</p> 	<p>1億円のレプリカ</p> <p>カード</p>

<p>考 え る</p>	<p>5 学校に税金が使われていないとしたら、どうなるかを考える。</p> <p>(1) 塾やスポーツをしている人の月謝はいくらだろうか。</p> <p>(2) 学校に税金が使われていなかったら、月謝は7万円と知る。</p> <p>(3) 税金がないと困るから、税金は必要だろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書を買わなければならない。</li> <li>・3千円</li> <li>・7千5百円</li> <li>・高い!</li> <li>・兄弟が多いと大変だ。</li> <li>・税金がないと困る。</li> </ul> <p>※3万円, 5万円, 7万円の三択形式のクイズにほとんどの児童は5万円に挙手をし, 7万円と知り驚く。</p> <p>※全員が必要であると挙手する。</p>	
<p>広 げ る</p>	<p>6 「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を視聴する。</p> <p>(1) 税金がなくなったら、どうなるのだろうか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急車・・・3万円/回</li> <li>・信号機設置・・・百万円～5百万円/機</li> <li>・消防車・・・2千5百万円/台</li> <li>・はしご車・・・1億5千万円/台</li> </ul> <p>7 税金の使いみちについて考える</p> <p>○税金は豊かな生活をおくるためのものであるから、使いみちを考えなければならない。</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・火事になったら、消防車を呼ぶのも有料になって大変。</li> <li>・救急車も有料。</li> <li>・信号機が動かず、交通渋滞になる。</li> <li>・ごみ収集もされなくなって町中がゴミだらけになる。</li> <li>・公園の整備がされなくなる。</li> <li>・老人でも働かなければならなくなる。</li> <li>・道路も通行料を取られる。</li> </ul> 	<p>DVD</p>

	<p>(1) 税金の使いみちは誰が決めるのだろうか。</p> <p>(2) 国民の三大義務は何か。 ◎税金はすべての国民が健康で豊かな生活がおくれるように国民みんなが出し合うもの。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国会議員</li> <li>※国と同じように県民や市民の代表者が議会で予算を決めることを知る。</li> <li>・教育を受けさせる義務</li> <li>・勤労の義務</li> <li>・納税の義務</li> </ul>	
まとめる	<p>8 本時の学習を振り返る。 ・感想と税の絵ハガキを描く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・税金は絶対必要なものである。</li> </ul>	絵ハガキ

## 5 児童の感想・税の絵ハガキより

- ・税がないと大変なことになることが分かりました。DVD で見たように、学校や病院などにも税が使われていて、税がなければ全部自分たちでお金を払わなければいけないので、やっぱり税があった方がいいと、誰もが思うと思いました。
- ・税金がもしなかったら、みんなが困るし、みんなが不安になってしまうかもしれないので、税金は何があってもないといけないと思いました。
- ・税金がなかったら、世の中がめちゃくちゃになると思いました。来年から10%になるけど仕方ないと思いました。
- ・今日の授業で、やっぱり税金は必要だと改めて実感しました。税金のことを知るまでは本体価格に税込みになるなんて計算とかめんどうくさいなと思っていましたが、それがみんなのためになるなら払えると、これからは思えます。



## 6 成果と課題

- 今回の租税教室は、児童の税に対する興味・関心を高める上で効果的だった。
- 税についての知識が乏しい児童たちにとって、「マリンとヤマトの不思議な日曜日」のDVDは、税の内容や使い途を知らせる上で、非常に効果的であった。
- 学習後に、税の絵ハガキを描く活動には、どの児童も楽しく、かつ意欲的に取り組むことができた。どの作品も、「税は大切なもの」「自分たちの生活になくてはならないもの」というとらえをしており、本時のねらいが達成できたと思われる。